

浦安市障がい者就労



支援センター通信



浦安市障がい者就労支援センター
(浦安市ワークステーション 1F)
住 所 279-0032 浦安市千鳥 15-5
TEL 047-304-6200
FAX 047-304-6202
✉ urayasu-syurosien@roukyou.gr.jp
開館日 月曜日～金曜日(祝日を除く)
開館時間 午前9:00～午後5:30
＜受託事業者＞
労働者協同組合ワークスコープ・センター事業団

多職種他機関連携とは～就労支援と生活支援の連携について

船橋市グループホーム連絡協議会、船橋障害者相談支援事業所連絡協議会(FAS-net)、障害者就業・生活支援センターによる合同意見交換会が2024年2月14日に開催されました。開催場所は船橋市役所11階大会議室にて、船橋市内の相談支援分野、就労支援分野、生活支援分野の関係者約60名が一同に会しました。

意見交換会では12のグループに分かれ、「多職種他機関連携とは～就労支援と生活支援の連携について」というテーマについてディスカッションを行いました。

相談支援機関・生活支援機関・就労支援機関同士の

- ① 「連携の現状」
- ② 「理想的な連携とは？」
- ③ 「何故、それが出来ていないのか？ 課題解決のためには？」

というサブテーマに沿って、各分野の参加者が活発に意見交換を行いました。



グループディスカッションのまとめの発表では、普段からお互いが知った仲であること(関係構築)、必要な連絡・相談を遠慮せずに行うこと(情報提供)、顔合わせ・会議体をもつこと(情報共有)の重要性が語られ、お互いの担当領域をしっかりと理解した上で、自分自身の領域から一歩踏み出して連携すること、「できません」ではなく、「〇〇までならばできます」ということを伝える大事さを確認しました。

今回の合同意見交換会には、浦安市障がい者就労支援センターから2名が参加しました。浦安市においても多職種他機関連携は課題になっており、今回の意見交換会で得た知見を活かして、就労支援機関と生活支援機関との連携を深めていこうと思います。



MP 法って知っていますか？



MP法とは、日常の些細な出来事をできたことについてM(Masterly)、楽しめたことはP(Pleasure)と記載する事で小さな幸せを探し、ポジティブな感情を引き出す方法論のひとつです。

MP法をおこなうと・・・できること、楽しめることを探すようになります。できることや楽しめることが見つかりと誰でもうれしく、自然に前向きになっていきますよね。その結果、悩んでいる時間や心配している時間が減り、気分や体調がよくなります。

できたことや楽しめたことを探せない日もあると思います。そのような日は、友人や雑誌、テレビやSNSで見つけた好きな言葉を記載してください。例えば、ドラマやスポーツを見て感動した等、楽しめたことが見つかるはず。まずは「やっても何も変わらない」と判断しないで、「物は試し」と思ってやってみましょう。

高次脳機能障害とは

脳の病気やけが等で、脳が損傷を負ったことにより、注意力や記憶力、感情のコントロールが上手に働かなくなる認知機能の障害です。相手の話を正確に理解できなかったり、混乱してしまったりすることがあります。また、以前できていたことができなくなる「中途障害」でもあるので、日常生活や社会生活に支障が生じることがあります。では、高次脳機能障害のある方に対して、どう関わると良いのでしょうか？

ポイント

上手に伝わる説明をしましょう！ **例え話**をすると上手に伝わります！

例えば…脳の疲れやすさに対して（易疲労性）

「**脳の一部が休んでいる状態です。**フルに活用できていないので、脳を休ませましょう」

例えば…ワーキングメモリ機能低下に対して





「**脳のなかの作業机が小さくなっています。**前よりも同時にたくさんのことができなかつたり作業に時間がかかってしまうのかもしれません」

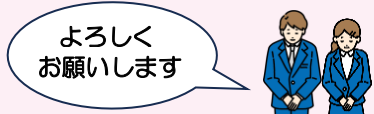


「こういう障害があるから、これが苦手なのかも」「この工夫をすれば、やりやすくなるかも」と、ご本人が少しずつ自己理解を深められるように周囲が接することが大切です。

参考文献 阿部順子編集・リハビリテーション心理職協会作成協力。「高次脳機能障害の方に上手に伝わる説明テクニック集」.2023-6,https://kumanakoubou.com/rpa_tips/index.html(参照 2024-01-31).

新型コロナウイルス感染症対策について

-  2023年5月8日より新型コロナ感染症法上の位置づけが5類に移行しました。
-  マスクの着用については個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断で着脱をお願いいたします。
-  咳エチケットの観点から、職員はマスクを着用するようしております。
-  面談および講座の運営は、ソーシャルディスタンスを保ち実施しております。



支援センターまでのアクセス



アクセス

公共交通機関 舞浜駅南口より東京ベイシティバス20系統千鳥線（バス乗車10分）
舞浜行（千鳥循環） 千鳥西行 クリーンセンター行 クリーンセンター下車 徒歩7分

※千鳥車庫行のバスはクリーンセンターバス停には停車しません。

